

※水色と黄色のセルは回答必須(回答すると色が消失)。				送付先:report@r-ict-advisor.jp (一財)全国地域情報化推進協会	
				派遣決定番号	128K
				報告日	令和7年10月7日
				報告回次	2日目
令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書					
地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。					
記					
1. 申請団体情報					
1-1. 申請団体					
団体名	岐阜市			代表者名	柴橋 正直
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	行政部デジタル戦略課	連絡先電話番号	058-265-3909
担当者役職	係長	担当者氏名	長尾 洋輔	連絡先E-mail	
住所	500-8701 岐阜県岐阜市司町40番地1				
1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)					
団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	
1-3. 支援を求める内容					
支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	管理職員のDXマインドセット研修		
概要	本市のDXをさらに推進するため、管理職員が自治体DX推進が必要となる背景を今一度正しく認識し、各職場で取り組むBPR及びEBPMへの理解を深める研修の実施				
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) EBPM(エビデンスに基づく政策立案)				
2. 地域情報化アドバイザー派遣実績					
2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年10月6日	講演(実地)	13時30分	16時30分	
				活動時間(分)	180
2-2. 派遣場所	会場名	岐阜市役所		最寄駅	JR岐阜駅
	所在地	岐阜県岐阜市司町40番地1		最寄駅からの交通手段	路線バス
3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望					
支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。					
アドバイザー	鈴木 昌幸				
評価	大変良い				
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	本市の管理職向け研修において、自治体がDXを推進すべき背景から、DX推進において管理職として必要な心構え、若手職員から積極性を引き出すためのスキル等についてご教授いただくとともに、BPR及びEBPMの実践に向けたステップや具体事例について、アドバイザー自身の自治体職員としての知見・経験を踏まえ、大変わかりやすくご紹介をいただいた。また、グループワークでは、「管理職が若手職員に示す『未来に残したい自治体の仕事』」、「データ活用に関する管理職のロールプレイング」をテーマに、若手職員とのコミュニケーションを想定しながら意見交換することにより、各職場での実践に落とし込むための具体的なイメージを掴むことができた。				
アドバイザーへの要望事項	特になし				
4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果					
4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】		合計人数	43人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	43			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	本市では、市民サービスの向上や職員の働き方改革などにつなげるため、市役所のDX推進や地域社会のDXに資する取組を推進しており、とりわけ、それを支えるDX人材(職員)の育成を重視し、庁内のDXの中核的な牽引役であるDX推進リーダーを対象に実践型のデジタルスキルを身に着けるためのBPRやEBPM等の研修を実施してきている。こうした中、全庁的に業務改革やデータに基づく政策立案を推進していくためには、スキルをもったDX推進リーダーだけでなく、各業務を所管する部署の管理職員が、その重要性和理解を深めることが必要不可欠である。				
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	自治体DX推進が必要となる背景を今一度正しく認識し、BPRやEBPM等の重要性和理解を深めるための研修を実施し、本市の各部署の管理職員に当該認識と理解を浸透させる。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	管理職職員43名に対し「DX時代における管理職の心・技・体」と題した研修の講師を行っていた。主な内容は、自治体がDXを推進すべき背景やDX推進において管理職として必要な心構え、BPR及びEBPMの実践に向けたステップ等の講義、「管理職が若手職員に示す『未来に残したい自治体の仕事』」、「データ活用に関する管理職のロールプレイング」をテーマとするグループワークなど。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	アンケートの結果、研修を受講した管理職職員の全員が「DX推進の背景に関する理解が深まった」、また、98%が「DX時代における管理職の役割に関する理解が深まった」「自治体におけるBPRとデータ活用の意義に関する理解が深まった」と回答しており、本市において各職場でBPR・EBPM等のさらなるDXを進めていくための組織風土の醸成に向けた契機となった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	当研修によって、受講者はDX推進に関する管理職の心構え、BPRとデータ活用等に関する理解を深めるとともに、今後、自身の部署において具体的な業務で実践するイメージが掴めた(別添アンケート結果のとおり)。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添アンケート結果のとおり	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	当研修で醸成した管理職のDX推進に向けたマインドとBPRやEBPMに関するDX推進リーダー等のスキルを掛け合わせ、各職場でのDXの実践を図るとともに、そうした実践事例を庁内に共有することにより、他部署への横展開、市全体でのさらなるDX推進につなげていく。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	全庁的なBPRの推進により、職員の業務生産性の向上を図り、その結果生み出される時間や労働力を本来職員が注力すべき、市民に寄り添ったサービスや地域課題の解決に向けた創造的な業務に振り向けるとともに、EBPMのさらなる推進により、市民ニーズに応じた、より質の高い行政サービスを提供し、市民の幸福な生活の実現につなげる。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all_houkoku/
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

